

B7東京サミットがイノベーションの 大きな一歩となることを期待する

経済産業大臣

にしむら
やすとし
西村康稔



B7の皆さまの来日を歓迎いたします。

ChatGPTは米国で発明され、世界中で使われて日々進化しています。オープンイノベーションで技術進化は加速しており、例えば日本のラピダスは、2020年代後半に次世代半導体の製造拠点を設置するため、米国のIBMや欧州のimecと連携して最先端半導体の開発に取り組んでいます。この分野では米国や台湾の企業が日本に投資しているほか、日本政府も22年度の補正予算で1・3兆円を計上し、支援しているところです。

量子分野では、東京大学とIBMが協力して、新たなユースケースを生み出すようしています。同大学はまた、最先端の量子コンピュータをベンチャーや国内企業に提供する取り組みも開始しています。

エネルギー分野では、日本の商社が英国での洋上風力事業に参加し、英国、ドイツ、イタリアのパートナー企業とともに再生可能エネルギー分野へ投資しています。約半世紀前、我が国は、世界で初めて天然ガスを液化し、アラスカから輸送しました。そして22年、我が国は、豪州で生産された水素を液化して日本に輸送する世界初の試みに成功

しました。今後は、米国やカナダ等で生産された水素を、液化水素船で日本やグローバル・サウスに運ぶこともできるでしょう。さらに原子力の分野でも、先週開催されたG7札幌気候・エネルギー・環境大臣会合^{※1}において、日本を含む原子力エネルギーの使用を選択した国々が、原子力サプライチェーンの強化や、次世代革新炉の開発と建設で協力することを確認^{※2}しました。

このように、各分野で次々とイノベーションが生まれています。そしてこれにより、日本の景色も変わってきています。経済界の皆さまにとっても、新たな挑戦が始まっているものと思います。オープン・イノベーションは新たな世界を切り拓くものですが、その際には、知的財産権の保護や環境負荷の軽減、サプライチェーンの強靱化などに向けて、信頼に基づく取り組みが必要です。自由、民主主義、人権の尊重、法の支配という基本的な価値観を共有するG7の結末が、今こそ重要であると考えます。

イノベーションの最前線に立たれるのは、企業・産業界の皆さまです。今回のB7東京サミットが、イノベーションの大きな一歩となることを期待しています。

(注1) 2023年4月15～16日、北海道札幌市にて開催
(注2) G7気候・エネルギー・環境大臣会合コミュニケ(和文仮訳)
<https://www.env.go.jp/content/000127829.pdf>